



発行所/宇木公民館
編集/広報部



振興委員長
成澤 正章

一年を振り返って

今年度は新型コロナウイルスの感染防止を考慮しての活動となりました。活動行事に関係する役員の方と会議をする中でも、コロナの沈静化がなければ中止もやむを得ないとなりました。もしくは最小限の人員にて執り行い致しました。感染拡大は世界的に大問題となり、難しい判断となりました。集団感染に避

けるべきなのは、密閉・密集・密接の三つの密と発表がありました。区民会館の利用の際にもマスクの着用・室内換気等をお願いしております。まだまだ、この感染流行が収まるには時間がかかりそうです。ぜひ健康には十分に注意なさるようお願い申し上げます。現在も多方面に渡って影響が続いております。

医療体制・観光・飲食・農作物の流通など心配が尽きません。今回、区の振興に携わりまして、区民皆様方の御協力と役員さんによる裏方の仕事に支えていただいている事を痛感しました。ありがとうございました。関係者の方々に感謝しつつコロナ終息を願っております。

今年も桜はきれいに咲いたが
観桜会は無く心なしか寂しそう...



宇木公民館長
坂口 輝雄

一年を振り返って

区民の皆様には、日頃から区の事業に対してご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。さて、昨年1月7日に中国・武漢で突如発生した新型コロナウイルスは瞬く間

員交代もあり、大きな大きな不安に駆られていました。しかし、2020年度の宇木公民館事業を計画し準備を進めている頃、新しい「疫病」が中国の武漢から全世界に広がり始めていました。その疫病は「外出の楽しみ」「人と会い話す楽しみ」を奪ってしまい、今も多くの国や産業や人々を苦しめています。

4月10日の公民館運営委員初顔合せ会の後、16日に緊急事態宣言が全国対象となり、5月25日に解除されましたが、「千歳桜

観桜会」「産業視察旅行」「スポーツ大会」「夏祭り・秋祭り」「クリスマス会」が中止となり、懇親会は今もって開催ができない状況下であり、公民館事業の中核である「地域住民のコミュニケーションの場を作る」ことが出来なく任期を終えようとしていることが、大変申し訳なく、そして残念な思いしております。

最後に、地区皆様のご健康ご繁栄と次期役員の方々のご活躍を祈願し挨拶とさせていただきます。1年間ありがとうございました。



宇木区長
畔上 時雄

コロナ禍で感じたこと

に世界を席巻し、日本でも4月に入り非常事態宣言が全国一斉発出となりました。ソーシャルディスタンス(社会的距離)やロックダウン(都市封鎖)あるいはパンデミック(世界的流行)といった聞きなれない言葉が連日テレビや新聞をにぎわして日常が一変してしまいました。そしてそれは出口が見えない今も続いています。区の事業も予定を大幅に変更せざるを得なくなり、区民の皆様には大変なご迷惑と我慢を強いることとなり、

心苦しく思っています。4月の桜下農産神社祭典や9月の八柱神社例大祭は神事のみとなり、また春のおてんまや土木懇談会、区新年会などは規模縮小で行わせて頂きました。そんな厳しい中でも、長年の懸案であった1組の十八戸堰と3組の悪堰改修が無事終了できたことは大きな喜びでした。また、要望があったゴミ定集所の新設が地主さんのご協力のもと、1組に1か所設置できたことも、暮らしやすい地域づくりの一助になったこ

とと思います。高齢化が進む当地区ではありますが、お互いに助け合いながら、より良い暮らしができるよう、安心安全な地域づくりに協議員会全員で力を合わせて頑張る所存です。最後になりますが、この苦境はもうしばらく続くと思いますが、止まない雨はないともいいます。今年こそは平穏な日常が戻り、希望溢れる年になりますようご祈念申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

《編集部からの一言》

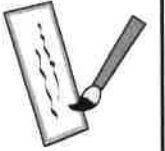
今年度は、皆さんにとってどんな年だったでしょうか？
「大変だった」「遠方の親戚に会えなくて寂しかった」という方もいらっしゃると思います。

禅語の中に『日々是好日』(にちにちこれこうじつ)という言葉があります。
毎日毎日が素晴らしく、大切だという意味だそうです。
今日が素晴らしい日であったなら、明日も素晴らしくなるのでしょうか。
来年度も皆さんにとって、素晴らしい日々が続きますように。



令和2年度

宇木シルバー川柳 結果発表



最優秀賞

『コロナ渦で 収入減っても 脂肪増え』 スイートパンプキン



優秀賞

『わが家では 窓を開けずも 換気なる』 ノンベエ

『マスク顔 挨拶のあとに 「わかるかい？」』 浮雲

『コロナ渦で 離れて暮らす 思いやり』 詠人不知



入賞

『りんご箱 母ちゃん運んで 腹はさむ』 宇本樞長

『コロナ渦や 粹な企画に 筆が舞う』 横手のマドン・・・バ

『マスクして 挨拶されても どの雑』 ノンベエ
 『問題児 昔は長男 今ばあさん』 緋細防衛隊長
 『コロナだぜ 銀河の星のお出ました』 卍,A
 『自然の理 雨もよし 雪もまたよし』 卍,A
 『今じいちゃん 大きくなれば くそじい』 下倉スワローズ
 『としのせや しずまりかえる コロナ渦で』 春夏秋冬
 『福寿草 落葉の下で 顔を出す』 ウッチーさん
 『ほそ枝に 野鳥がつつく 残る柿』 ウッチーさん
 『コロナ渦で マスクの上に ごはんつぶ』 おとみさん
 『じじとばば GOTOトラベル 行かない』 おとみさん
 『暮れの陽や 追い回しても 逃げる君』 E.Wニコル
 『美人顔 マスクを取れば おかまちゃん』 宇本樞長
 『コロナ渦は いつまで続く 果てしなく』 俊チイチャン
 『人ごみは 入らなくして 感染せず』 俊チイチャン
 『緋細し 捜し捜して 疲れはて』 俊チイチャン
 『熱あがり 我慢してたら イチコロよ』 渡辺英枝
 『ねこがきた 冬を忘れる 膝の上』 渡辺明
 『コロナ いつになったら 収まるのか』 月岡徳宏
 『俺ってやだ 出来もせぬに 又首つっ込む』 畔上恵治
 『コロナ渦で 自粛に中止に 孫泣』 詠人不知



『ボケたって? リンゴか頭か どっちだや!』 果樹農家人
 『流星に 願う疫病 退散を』 スイートパンプキン
 『「嵐」 去る どちらの嵐か 気にかかる』 浮雲
 『電子マネー 入りも払いも まるはだか』 デジタル税務署
 『はらはらと リンゴ残して 散る落ち葉』 詠人不知
 『コロナ渦 蓮根食うても 先見えず』 SAKAE UEDA
 『秋の夜の テレビ横目で 柿のれん』 ウッチーさん
 『GoToGoTo 感染拡大 他人ごと (GoTo)』 トランプ狂信者
 『すぐわかる 雄の付く名前 兼さんだ』 仙人
 『生きがいは 聞かれて困る 古希過ぎた』 仙人
 『チュンチュンと エサがあるぞと 仲間呼ぶ』 マーサン
 『おどうくう からす追いだす たかが舞う』 マーサン
 『認知症 治療筆が 望めない』 俊チイチャン
 『本年は コロナコロナで 師走かな』 俊チイチャン
 『疫病で 行きたい旅も 行けなくて』 俊チイチャン
 『詐欺電話 出ざる聞かざる 言わざるべし』 あっおるまま
 『コロナ渦で マスクをかけて 予防する』 sirousagi
 『雪降らず コロナが降って 困ったな』 文(ぶん)ちゃん
 『パパとママ いつまで呼ぶか 子供達』 トナリの健坊
 『孫いわく ばーばしわしわでも 大好きだよ』 詠人不知

※入賞より先の作品は順不同となっております

ペンネームや記載の指定がなかった方々は「詠人不知」(よみびとしらず)とさせていただきます。

年末に募集いたしました「シルバー川柳」におきましては、ご協力いただき誠にありがとうございました。

今年はコロナの流行により、ほぼすべての行事が中止となってしまいました。

そんななか、少しでも楽しんでいただければと思い、急遽企画させていただきました。

「募集をしたものの、集まらなかったらどうしよう…」という、

編集部不安を他所に予想を上回る46作品もの応募をいただきました。

本当にありがとうございました。

各班長、区長、振興委員長の23名の投票により、『最優秀賞』『優秀賞』『入賞』の6作品を決定し、

後日表彰もさせていただきます。

ご応募いただいた方々です

青木政子 畔上こまき 畔上恵治
 畔上時雄 畔上チエ子 畔上千木子
 畔上富子 畔上はつ子 畔上正雄
 上田さか栄 坂口香里 坂口輝雄
 坂口俊雄 田河友良 田河文子
 月岡徳宏 堀越康宗 町田正一
 山本加津美 湯本文男 渡辺明
 渡辺栄子 渡辺茂春 渡辺英男

(順不同 敬称略)

ありがとうございました

